

第17回 関西障害学生支援担当者懇談会

9月15日開催分 アンケート集計結果

アンケート回答者: 56名

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
池坊短期大学	1
大谷大学	1
京都産業大学	2
京都女子大学	2
京都精華大学	1
京都造形芸術大学	2
京都大学	2
京都橘大学	1
京都府立大学	1
京都文教大学	2
京都文教短期大学	1
同志社大学	3
花園大学	2
福知山公立大学	2
立命館大学	3
龍谷大学	2
合計	28

その他

大学名	人数
NPO法人 ゆに	1
記述なし	1
合計	2

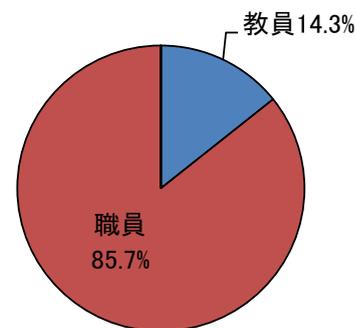
大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
大阪音楽大学	1
大阪市立大学	2
大阪大学	1
関西学院大学	2
近畿大学	1
神戸学院大学	1
神戸芸術工科大学	1
神戸市外国語大学	1
神戸松蔭女子学院大学	1
神戸女子大学	1
神戸大学	1
神戸海星女子学院大学	1
帝塚山大学	1
天理大学	3
長浜バイオ大学	1
奈良女子大学	1
奈良女子文化短大学	1
奈良先端科学技術大学院大学	1
びわこ成蹊スポーツ大学	2
桃山学院大学	1
和歌山大学	1
合計	26

1-2 区分

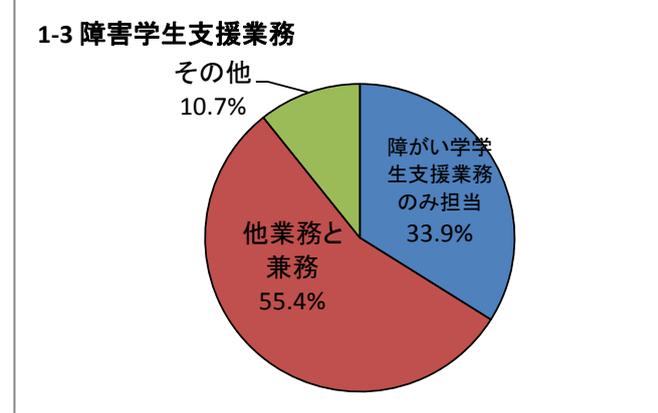
選択肢	人数	%
1 教員	8	14.3
2 職員	48	85.7
3 その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	56	100.0

1-2 区分



1-3 障害学生支援業務

	選択肢	人数	%
1	障害学生支援業務のみ担当	19	33.9
2	他業務と兼務	31	55.4
	その他	6	10.7
	合計	56	100.0



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

	選択肢	人数
1	ホームページ	2
2	コンソーシアムメーリングリスト	12
3	KSSKメーリングリスト	26
4	知り合いからの紹介	6
5	その他	8

「1 ホームページ」のサイト名

- ・コンソーシアム京都

「5 その他」の記述内容

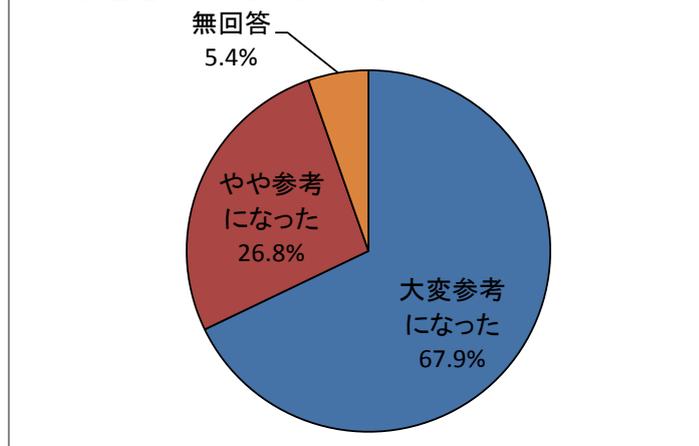
- ・知人からの紹介
- ・以前に参加した職員からの紹介
- ・大学で案内された
- ・大学で情報が回ってきました
- ・上司から
- ・学内でKSSKのメールが転送されてきた
- ・同じ障害学生担当者からの案内
- ・世話人です

3. 話題提供について

3-1 話題提供の内容は参考になりましたか？

	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	38	67.9
2	やや参考になった	15	26.8
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	3	5.4
	合計	56	100.0

3-1 話題提供の内容は参考になりましたか？



3-2 (1) の回答を選択された理由をご記入ください。

- ・ 情報保障の評価シートは本学でも活用できると思った。学生自身のセルフマネジメントについて話が聞けて良かった。
- ・ 当事者が講師で生の声、特に質の問題についてのお話があったから。
- ・ PCテイクのチェックリストを使ってみたいと思います。
- ・ 支援体制の中心が「学部・学科となっていく方向に向かっていけるように」という目標をあらたにしました。
- ・ 自分の中で落としきれていなかった問題にふれる話題だった。
- ・ 大学としての課題が似ており、仲間意識が持てたため。又、自分の支援について考えることもできたため。
- ・ 課題の理解について、他大学の実情を理解できたこと。本来どうあるべきか？も意見交換できる機会となり感謝しています。知恵と共有し合うこと、教えて頂くことは勿論やはりつるぐことの大切さを学んだと思っています。
- ・ 小～大規模大学(公立～私立)までの方々の各校の現状を聞け参考になった。
- ・ 大学規模の違いですべてが本当に応用できるものではないか？
- ・ 支援の流れ学部教員(学科)とのかかわりなど、今後の支援体制づくりや協力関係づくりに役立つものとなりました。評価シートも参考にしたいです。
- ・ 阪大のとりくみが参考になった。中野先生のお話は、いろいろな実態を示していて、たいへん興味深かった。
- ・ 情報共有の難しさを痛感し、ニーズにあわせたシステム作りの運用を進めていきたいと思いました。
- ・ 支援体制のひとつのモデルを知ることができた。
- ・ 障害者支援を専門に扱う部署やガイドライン等が整備されていないため、他大学の例を持ち帰り学内で整備したいと思う。
- ・ 阪大の実践も含めた組織体制の説明が参考になった。
- ・ 体制づくり、ガイドライン、配慮願いについて聞けたので。また学生さんの気持ちに立つこと、とても大事と感じました。
- ・ 国立の支援体制を参考に本学の体制を考えたい。
- ・ 支援制度はある。でも、その質の向上を目指すというポイントや障がい学生自身のセルフマネジメントの力を培うことが本当に大切だと思いました。当事者による支援という意味でも言葉に深さを感じました。
- ・ 学生の状況把握が入学後、かなり時間を要し困っているのが現状で情報が入ってくる流れができていなかったが、本日の話題提供を参考に学部－学生－サポートの連携が、うまくできるようになればと思う。
- ・ 専門家による支援システムや対応法のレクチャーが必要。
- ・ 実際の担当者が障がい者であることで見えてくる問題点を指摘していただいた点大いに参考になりました。
- ・ 時間が限られていたため、組織、実践のいずれも深いお話をお伺いできなかったことが残念でした。
- ・ 他大学の修学支援のシステムを知ることができ、参考となりました。
- ・ 大きな大学での取り組みを伺うことで、小さな大学だからこそできる支援を考えていければと思いました。
- ・ アセスメント部門、すごく興味があります。もう少しここをききたかったです。学内の体制がよくわかった。
- ・ 大規模国立大学の事例を分りやすくお話いただき、大変参考になりました。「合理的配慮検討委員会」に学生本人が出席するという取組には大変驚きました。
- ・ 事例を伺うことができたことで、今後本学の「障害学生支援室(仮)」の設置に向けてとても参考になった。
- ・ ”セルフマネジメント”の考え方が大変参考になった。
- ・ 他大学の取組が、まず知りたかったので、大変参考になるはなしをきくことができました。
- ・ 中野先生の支援学生に対する思いやりに支援をする側として改めて「あっそうだった」と考えさせられる内容でした。
- ・ 他大学の事例は大変参考になります。
- ・ 他大学の組織、取組を知れた。
- ・ 阪大のとりくみが知れたし法律の存在すら知らなかったので、アップデートな情報が知れて良かった。
- ・ 支援体制の話がやや長かったが、全体としては自大学の参考になった。
- ・ 学生支援の仕組みとして、学部が重要ポイントになることを知れました。
- ・ 体制の話から、建設的対話の話、ハードからソフト面まで興味深く感じました。
- ・ もう少し時間をとって詳しくお聞きしたいぐらいでした。
- ・ 支援体制の構築について改めて意識を高めることができた。また、学内全体でのとりくみの重要性も再認識できた。
- ・ 特に不満を改善のチャンスにという発想の転換が参考になりました。

4. 分科会について

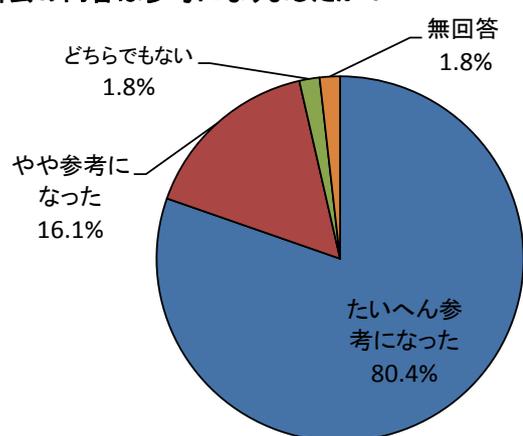
4-1 どの分科会に参加されましたか？

	選択肢	人数	%
1	A『支援体制』	16	28.6
2	B『支援実務入門』	19	33.9
3	C『支援実務①発達障害、 精神障害のある学生の支援』	12	21.4
4	C『支援実務②肢体不自由の 学生の支援』	5	8.9
5	C『支援実務③特殊な科目・ コースにおける支援』	4	7.1
	合計	56	100.0

4-2 分科会の内容は参考になりましたか？

	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	45	80.4
2	やや参考になった	9	16.1
3	どちらでもない	1	1.8
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	1	1.8
	合計	56	100.0

4-2分科会の内容は参考になりましたか？



4-3 (2) の回答を選択された理由をご記入ください。

◆ A『支援体制』

- ・ 様々な実情をきくことができ、横のつながりができたため。又、自分の大学での支援(体制)を振り返ることができ、問題意識を持つことができたため。
- ・ 体制の課題は、教育の質的保障を確保することが重要であると再認識しました。合理的配慮、ガイドライン、人材の育成配置など多くのことを学ぶ事ができました。ありがとうございました。
- ・ ガイドライン作成にあたってのポイント・留意点について参考になりました。
- ・ 多くの大学の具体的な事例を聴く事ができた点。利用できる外部機関等の情報が得られた点。
- ・ 他大学の支援体制の話をおきくことで、自大学の体制の課題に対する改善の糸口が見つかったから。
- ・ 各大学の取り組み(現状)や課題を具体的に知れたこと。とくに教職員間・組織間(部署)の連携のありかたは参考になりました。
- ・ 司会の村田先生の進行、まとめがすばらしく、十分な情報を得ることができたことに感謝します。各大学の悩みも含めた情報を得られて有意義でした。
- ・ 他大学の取り組みについて、具体的なお話を聞くことができました。
- ・ 他大学の例と参考にして、本学の方針を決めたいと思う。
- ・ 多様な課題をファシリテーターが整理し頂き大変有意義な情報交換ができました。
- ・ 国立・私立大学さんの体制について聞いて良かったです。どんな大学でも、それぞれ課題があり、大変さを抱えておられることも勉強になりました。
- ・ 立ち上げの現場が直面している状況、限られた人材と資材を工夫している状況など合理的配慮の基盤となる現状が参考になった。
- ・ ガイドライン、基本体制について参考になった。大規模大学と書規模大学の取り組みについて、同一には考えられないが、基本的考えは同じであることが理解できた。

◆B『支援実務入門』

- ・ 他大学の悩みが本学にはないものが多くあったから。
- ・ ディープな実態がわかりよかったです。
- ・ 経験したことのない障がいについて参考事例を聞くことができた。
- ・ 他大学の事例は宝の山です。ネットワークづくりもお世話になりました。自分にとって大きな財産です。
- ・ 他大学でどんな事に困り、悩んでいるのか、それにどう対応しているのか情報共有できた。また、名刺交換で横のつながり作りのきっかけになった。
- ・ 他大学も同じ悩みを抱えている事が、分かっただけでも今後の職務に就く為の意欲につながった(悩んでいるのは自分だけではないんだ...)
- ・ 他大学の支援体制取組がしれて良かった。
- ・ 自分の大学と他大学の組織(ルーム体制)が大きく異なることに驚き、それが学びとなりました。今年配属をされ1人で立ち上げている方の現状や情報の少なさが日本の大学として多く該当しているのが現状なのが分って良かったです。
- ・ 他大学のいろいろなお話をお伺いできて大変参考になりました。
- ・ 具体的な事例をフリートーク型式でディスカッションできたため。
- ・ 他大学の事例を聞くことが出来ました。
- ・ 本学だけでなく、他大学のみなさんも様々な課題に悩まされてるのだと分かり、自分1人だけではなかったんだと安心することが出来ました。
- ・ 他大学の事例をたくさん聞くことができ、自大学へ持ち帰れるアドバイスをいただけた。
- ・ 他大学の状況がよくわかりました。

◆C『支援実務①発達障害、精神障害のある学生の支援』

- ・ 他大学の対応や皆さんご苦労されていることがよくわかった。
- ・ 各々の大学での支援が、そこに関わる人の色々な想いと葛藤がありながら存在するということをあらためて実感しました。学内の体制整備がなかなか思うようにすすまないことにくじけそうになったときも、皆さんの各々の大学でがんばっておられる話を聞くことで毎日ほげみに思っています。
- ・ 様々な事例が各大学から出され議論され考えるべきことも示された。今回のトピックスをさらに自分で理解を深め学生支援に役立てたいと思った。
- ・ 各大学の実情や担当者の本音が聞けたこと等、考え方や指導方針などまちがってはいない自信につながりました。大学等学校機関以外の方からも有益な情報の提供もありました。
- ・ 大学以外の組織の方の意見もきけたため。
- ・ 各大学、個人が抱えておられる現状、悩み、意見をお伺いできたことがとても良かったです。
- ・ 様々な大学の事例を知ることができ、大変参考となりました。
- ・ 様々な取り組みや意見を伺うことができました。なかなか学内でも理解して頂ける方と難しい方がおられるので、仲間が増えてうれしいです。
- ・ 他大の状況がわかりました。
- ・ 実務担当者の方のお話や、先生方のお話がいろいろとうかがえて、大変参考になりました。
- ・ 同じ内容で悩んでいた、ほっとする部分があったり本学で早く取まなければならない課題が見えてきたり、とてもよかったです。

◆C『支援実務②肢体不自由の学生の支援』

- ・ 学内での身体介助について他大学の事例が聞いて良かった。答えはない難しい課題だが、みんな同じ悩みがあると分かって良かった。
- ・ 答えの出せない現場の声が多く出されたから。
- ・ 同程度の支援をしている大学の話は参考になりました。
- ・ 大学内での身辺介助についての現実の状況がある程度知ることができ、最後の話の中でもとりあげられ少しみえてきました。
- ・ 今回の話をふまえて支援をすすめていきたいと思っています。
- ・ 各大学様の状況、質問など我が大学に重ねてながら、今後につなげようという内容の意見交換ができたと思う。

◆C『支援実務③特殊な科目・コースにおける支援』

- ・ 具体的な課題を現場の担当者同士が話し合えたことで似たような課題を分かち合えました。また、時間をたっぷりっていただけたことで、よりしっかりと他大学のお話を伺うことができました。現場で困っていたり悩んでいる職員にとって、仲間を得られる貴重な機会になったと思います。
- ・ これまでに在学した支援で関わったことのない学部や課程の支援に関わる課題は今後の業務の参考に頂きます。
- ・ 障害という言葉を気にし過ぎていて、なかなか前に進めなかったが「本質」の理解について気付くことができました。教員と学生、保護者の間でうまく話ができるよう更に勉強をしていきたいと思いました。
- ・ 現場のリアルな経験やお話、アドバイスをお聞きでき参加してよかったと思いました。特に全盲の学生への支援が大きな課題ですが、今後、本学で困ったときに本日の分科会でご一緒した方々と情報交換していきたいです。

5. 懇談会全体について

5-1 時間配分

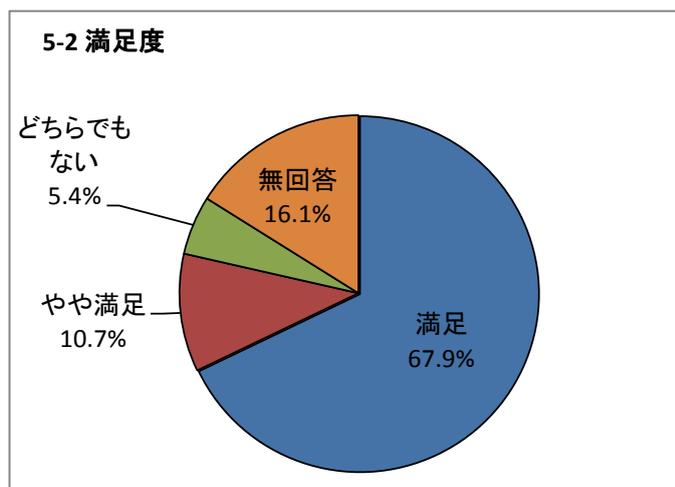
	選択肢	人数	%
1	長い	2	3.6
2	短い	2	3.6
3	ちょうど良い	44	78.6
4	無回答	8	14.3
	合計	56	100.0

「3 ちょうど良い」の記述内容

- ・ 今回の分科会はじっくり時間があってすごくよかったです
- ・ Q、Aがほしかったです
- ・ 分科会の時間が長い方が良いと感じました

5-2 満足度

	選択肢	人数	%
1	満足	38	67.9
2	やや満足	6	10.7
3	どちらでもない	3	5.4
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
6	無回答	9	16.1
	合計	56	100.0



5-3 (2) の回答を選択された理由をご記入ください。

◆「満足」と回答した人の自由記述

- ・ かなりこまかい内容まで話を聞くことができ、良かった。少人数で話しやすい雰囲気でした。
- ・ ゆっくり話げたから。
- ・ 分科会の時間が長いかと思っただ、ちょうど良かった。
- ・ 話し易い雰囲気での交流ができたため。
- ・ 講演、分科会とも、盛り沢山の内容で多くのことを学ぶことができました。また、大学単体でできること、連携(知恵の出し合い)で可能なことも知る機会となりました。
- ・ 分科会の時間はしっかりと時間が設定されており、意見交換がしやすかった。
- ・ 分科会の時間を2時間半とっていただいたのが、とても良かったです。
- ・ 他大学の同様の業務に携わる方々の顔を見ながら、お話ができたことで、次回以降につなげていく第一歩となると思うため。
- ・ 障害者差別解消法の施行により、本学の対応で行きづまることがあるので、開催時期や内容に参考になることが多かった
- ・ 実務者の話が聞ける懇談会である。
- ・ コンパクトにまとまっていますし、内容をとても充実していると思います。
- ・ 非常に多くの参加があり、多様な情報を共有できたため。
- ・ プログラムの計画、進行が大変よく情報交換がしっかりできました。他大学様のご意見を多く聞くことができ、今後の参考にさせていただきます。
- ・ 温かい方々と知り合えたこと。
- ・ 福祉の立場の方のおはなしが勉強になりました。阪大の先生のプレゼンもききたい内容だったので大変満足です。
- ・ 分科会での時間を長くっていただけたので、大変参考になるお話をうかがうことができました。
- ・ 名刺交換もできましたので、今後も情報交換をさせていただきたいと思ひます。
- ・ 多くのことを学べたこと。横のつながりをもっていくこと。
- ・ 知りたいこと様々ありましたが、多くの情報をいただきありがとうございました。
- ・ 情報交換、つながり作りができたことが何よりも良かった。
- ・ 参加してよかったと思ったのでやる気が向上しました。
- ・ 経験が浅いのでどのお話もすべて大変参考になりました。
- ・ 講演、分科会のバランスがよくたいへん勉強になったため。
- ・ 半日なので業務が忙しくても参加しやすいです。担当者だけではなく、いろんな部署の人にすすめてほしいです。

◆「やや満足」と回答した人の自由記述

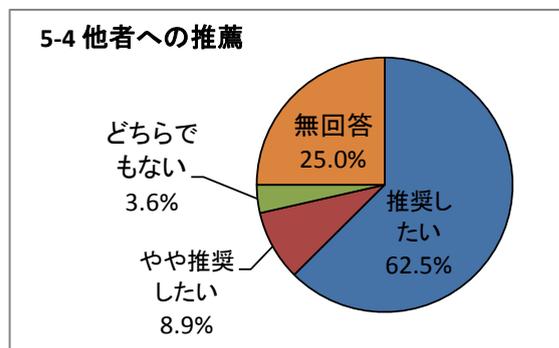
- ・ 話題提供を40分くらいにしてほしいです。

◆「どちらでもない」と回答した人の自由記述

- ・ 分科会は、テーマと実際がややかい離していたような気がします。司会(ファシリテーター)はやはりしてもらった方が良かったです。。遠慮が多かったかな？

5-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	35	62.5
2	やや推奨したい	5	8.9
3	どちらでもない	2	3.6
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨できない	0	0.0
	無回答	14	0.0
	合計	56	100.0



6. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。

- ・引き続き、障害学生支援関係を取り上げていただきたい。外部の就労支援機関の情報がほしい。
- ・発達障害に特化した内容。
- ・支援部署の運営・支援実施上の問題となる(なった)こと。
- ・引きこもりになってしまっている学生への対応
- ・第2次まとめ、法改正への新たな対応のポイント等。
- ・イレギュラーなケースへの対応。(特に発達、精神。診断がない場合も含め)受講制限する場合のプロセス等。
- ・小規模大学での取り組みについても知りたい。
- ・障害学生同士の平等・公平。全ての学生が同じ条件で学ぶためにすべきこと。
- ・制度と現状についてなど。大学の具体的な対応等を知る機会があればと思います。
- ・全盲の学生への支援について(通常授業・語学科目・教室移動・施設整備など)。
- ・中学や高校での支援も聞いてみたいです。
- ・障がいをもつ学生のキャリア支援について。
- ・就職を見据えた支援。
- ・アップデートな法体制・とりくみの情報。
- ・身体障害生の心理的不適応について。
- ・実際の現場でのケース事例など。
- ・初心者向けに障害別入門講座などの分科会があってもよいかと思います(発達、ノートテイクなど)。

7. 懇談会の改善点があればご記入ください。

- ・分科会のテーマは、それぞれ良かったと思います。ただ、参加者の共通認識・状況というものが、なかなかそろっておらず、あまり話は深まらなかったかな?という気はします。
- ・全体の参加者機関名称氏名の一覧があればと思いました。また、各分科会の課題質問内容等も(後日〇〇文書はいただけるとおもいますが)あれば良いと思いました。
- ・まずは自己紹介の時間があつた方が話が盛り上がると思いました。
- ・報告会がない方が良かったです!という声をたくさん聞きました。次回も今回と同様の形ですすめた方が良いのでは?と感じました。それか、参加者に簡単に報告してもらおう形でも面白いのでは?

8. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。

- ・もう少し”勉強会”という形が良いなと思ったのですが、この会の目的が”懇談”なので、これで良いのかと思います。
- ・いつも、お世話になり、ありがとうございます。
- ・今後ともこのような情報交換をつづけていっていただきたいと思います。
- ・本日はありがとうございました。大変勉強になりました。今後ともよろしく願いいたします。
- ・とても勉強になりました。あたたかい雰囲気の中でありがとうございました。
- ・学内業務の都合で参加できない時もありますが、午後からの開催は有難いです。
- ・くったくのない実務者の意見など聞くことができ、よかったです。
- ・大変有意義な時間でした。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。
- ・色々お世話になりました。
- ・本日は、どうもありがとうございました。また、この様な会に出席させていただきたいと思います。
- ・今回も司会の人のおちついた進行が心地よかったです。ただ、何かいつもとちがう人のような感じがしましたが、同じ方でしょうか?
- ・色々な大学の方とお会いでき、お話をお聞きできて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございました。
- ・事務局の皆様、ありがとうございました。
- ・今回、大阪の私立大学職員にもお声がけをさせていただきましたが、「秋学期がすでに始まっている」「来週から(4日後から)秋学期が始まるので」との理由で参加できない方が数名いた。実際、本学でも9月19日(月)から講義がスタートなり、秋学期開始1週間前は、ノートテイク・パソコンテイク講習会を毎日開催していることもあり、今回は1名のみ参加となった。次回の夏のKSSKは、8月下旬または9月上旬に開催した方が少数精鋭部署の私立大学職員も参加しやすくなるかと思う。(当初は本学だけ早いのかと思っていましたが、話を聞いていくうちに他大学も同じであることを知りました。)